

学年だより

第11号 2021年7月16日(金)

自分を大切に 仲間を大切に

豊中市立第十五中学校 第2学年

平和学習 「沖縄戦」について考える

7月の人権学習では、昨年度に引き続き、唯一の地上戦であり、多くの民間人が犠牲となった「沖縄戦」について学習しました。昨年度は、沖縄戦の全容を「さとうきび畑の唄」というドラマを見て学習しました。今年度は、皆さんとほぼ同じ年齢の「ひめゆり学徒隊」についてアニメやインタビューを見て学習し、平和について考えました。皆さんの感想の一部を紹介します。

★目をそむけてしまうほど怖く、心が痛みました。
今のように仲良く平和に暮らせることは、当たり前ではなかったんだと改めて感じました。私たちが平和に安全に暮らせていることはとてもありがたい事なんだと感じました。



★戦争はたくさんの方がなくなったり、けがをしたりしてしまうのでしてはいけないものだった。死にたなくても死んでしまう人がいるから、私たちは与えられた命を大切にしていかなければと思った。

★今でも、世界各地で戦争が起こっていることを考えると、この時もどこかで誰かが苦しんでいるのを考えてしまいます。そして、今の日本の平和に感謝です。これからも平和を保っていくことができると信じて、自分をしっかり持って、この命に感謝して生きていきます。

★今日このアニメを見て、改めて平和の大切さが分かりました。今でも戦争をしているところがあるけれど、みんなが相手を思いやる気持ちと命の大切さを理解すれば、きっと戦争はなく平和になると思う。

★昔の日本に本当に戦争があったなんて今の状況からしたら考えられないけれど、本当に戦争は恐ろしいものだと思います。島袋さんのインタビューでもあったけど、生きる喜びをしっかりと心にとめて生きる必要があるなと思いました。最近では「死ね」とか簡単に言ったり、人を殺したり、自殺したりする人がいるけど、もっと命の大切さを考えるべきだと思いました。

★今回の話で「生きること」の大切さがよく分かりました。なぜなら、いつもの平和な時から一転いきなり地下などで病人などの看病をする、まるで地獄のような生活から生きのびた方のインタビューにもあった「生きることが大切」という言葉が深く自分の心に突き刺さったからです。どんなに苦しくても、つらくても、精一杯生きることが良いと思います。僕もこれからの人生を精一杯生きようと思いました。

★私は現在日本で平和に暮らせているけれど、それが当たり前でなかった時代もあったので、私は戦争を経験した人の苦しみを知り、島袋さんの言葉を忘れずに生きていきたいと思いました。そして戦争があった事実と平和の尊さを伝えていくことが、戦争を経験した人たちから、私たちに残された使命だと思いました。



8月は原爆の日や終戦の日があり、「戦争」や「平和」について、新聞やテレビなどで取り上げられることが多いです。
長い夏休み。「平和」や「命の大切さ」について調べたり、考えたり、家族など周りの人と話す時間を持ってみてはどうですか？